

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 3 区分

【発行日】平成 19 年 12 月 20 日 (2007.12.20)

【公開番号】特開 2002-241601 (P2002-241601A)

【公開日】平成 14 年 8 月 28 日 (2002.8.28)

【出願番号】特願 2001-44023 (P2001-44023)

【国際特許分類】

C 0 8 L 71/12 (2006.01)

C 0 8 J 5/18 (2006.01)

C 0 8 K 5/521 (2006.01)

C 0 8 L 67/00 (2006.01)

【 F I 】

C 0 8 L 71/12

C 0 8 J 5/18

C 0 8 K 5/521

C 0 8 L 71/12

C 0 8 L 67:00

【手続補正書】

【提出日】平成 19 年 11 月 2 日 (2007.11.2)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

(A) ポリフェニレンエーテル系樹脂 51 ~ 99.9 重量部および (B) 液晶ポリエステル 0.1 ~ 49 重量部からなる樹脂成分 100 重量部に対して、(C) 難燃剤 0.1 ~ 30 重量部を配合してなる樹脂組成物より得られるポリフェニレンエーテル系樹脂組成物製シート。

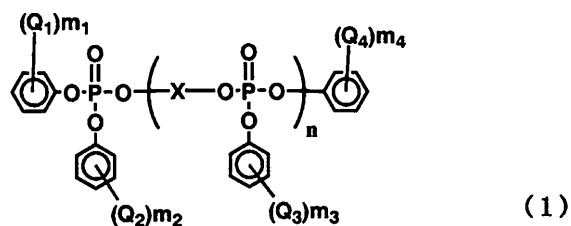
【請求項 2】

難燃剤がリン系化合物である請求項 1 記載のポリフェニレンエーテル系樹脂組成物製シート。

【請求項 3】

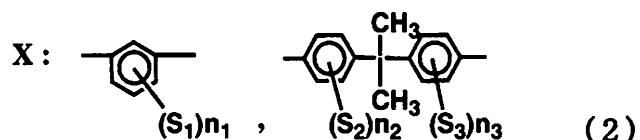
難燃剤が式 (1) の構造である請求項 1 記載のポリフェニレンエーテル系樹脂組成物製シート。

【化 1】



(式中  $Q_1$ 、 $Q_2$ 、 $Q_3$ 、 $Q_4$  は、炭素数 1 から 6 のアルキル基または水素を表し、 $n$  は 1 以上の整数、 $m_1$ 、 $m_2$ 、 $m_3$ 、 $m_4$  は 0 から 3 の整数を示し、 $X$  は以下の式 (2) のいずれかから選択される。)

## 【化 2】



(式中  $S_1$ 、 $S_2$ 、 $S_3$  はメチル基または水素を表す。 $n_1$ 、 $n_2$ 、 $n_3$  は 0 から 2 の整数を示す。)

## 【請求項 4】

M D のエルメンドルフ引き裂き強度が 3 . 0 ( N ) 以上である請求項 1 ~ 3 のいずれかに記載のポリフェニレンエーテル系樹脂組成物製シート。

## 【請求項 5】

異方性比 A R が、0 . 7 5 以上である請求項 1 ~ 4 のいずれかに記載のポリフェニレンエーテル系樹脂組成物製シート。

## 【請求項 6】

難燃剤の量が、( A ) と ( B ) の合計量 1 0 0 重量部に対し、0 . 1 ~ 1 0 重量部である請求項 1 ~ 5 のいずれかに記載のポリフェニレンエーテル系樹脂製シート。

## 【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 1 0

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 1 0】

4 . M D 方向のエルメンドルフ引き裂き強度が 3 . 0 ( N ) 以上である 1 ~ 3 のいずれかに記載のポリフェニレンエーテル系樹脂組成物製シート、

5 . 異方性比 A R が、0 . 7 5 以上である 1 ~ 4 のいずれかに記載のポリフェニレンエーテル系樹脂組成物製シート、

6 . 難燃剤の量が、( A ) と ( B ) の合計量 1 0 0 重量部に対し、0 . 1 ~ 1 0 重量部である 1 ~ 5 のいずれかに記載のポリフェニレンエーテル系樹脂製シート、  
を提供するものである。